

JAL闘争を支える京都の会News No.86

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

JALの業務委託契約による 解決は受入れられない！

7月26日、165名を解雇したJAL稲盛和夫会長（当時：現在JAL名誉顧問）の地元の大手筋商店街（京都市伏見区）で、JAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」が呼びかけ「ユニオンネットワーク京都」に結集する皆さん、「米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会」「9条ネット・滋賀」「合同繊維労組」の皆さんなど、15名に参加していただきました。JHU（JAL被解雇者労働組合）からは副委員長の神瀬麻里子さんに参加していただきました。



最初に駒井高之・京都の会事務局長は以下のよう
に訴えました。「7月13日、CCU（キャビン
クルーユニオン）は日本航空との間で『争議終結の
合意書』の締結』をした。乗員組合も7月22日
の臨時組合大会決議を受け、『整理解雇問題解決に
関する協定書及び覚書』を締結し、2010年整理解雇問題について終結することが確認
され、両労組の11年7ヵ月に及ぶ闘いに終止符が打たれた。両組合が評価した『業務
委託契約による職務の提供』という会社回答は、『雇用によらない働き方』である。いま政
府財界は『働き方改革』の名で、雇用によらない働き方、つまり労働関連の法律が適用され
ない、使用者が責任を負わない働かせ方をさらに進
めようとしている。今回の会社回答は、不当に解雇
され雇用契約を一方的に破棄された被解雇者に対し
て真の働く権利の回復と言えないだけでなく、全て
の労働者にとっても『雇用によらない働き方』の拡
大に繋がる大きな問題を抱えている。業務委託によ
る解決は受入れられない。」



次に神瀬さんは以下のように訴えました。

「JAL日本航空は4年前から、『この問題は早期に解決したいと毎日そのように考えて
いる。』と社長が発言しているのに関わらず、まだ解決していない。6月23日、既存の
2労組に会社が解決案なるものを提示し、同じものがJHUに示されたのは7月8日
であった。その中身は大変問題がある。これが解決策であるとはとても思えない。私たちが求

めてきたのは原職復帰と金銭解決である。今回ＪＡＬが解雇問題の解決として我々被解雇者に提示してきたのは、月に１２万５千円の報酬で２年働けますよ、という内容である。中身は『雇用関係のない業務委託契約』で、それを解決案とするというのはとんでもない話である。しかし既存の労働組合は７月１３日と２２日にその中身をＯＫであると合意をしてしまった。労働組合は会社が合意書の中で労使の信頼関係の正常化に努力すると言っていることを評価しているが、ＪＡＬは過去に何度もその約束をしている。言葉だけで合意をしてしまうことが私は本当に残念でならない。そして我々の本来の要求である原職復帰と金銭解決を求めて闘いを続けていけるのはＪＨＵ・ＪＡＬ被解雇者労働組合があるおかげ、そしてここ京都で支援をしてくださる皆さんのおかげである。そんなものに合意をしてしまったら日本中の働く仲間の足をひっぱることになる。私たちは毅然としてこの会社のやり方と闘っていくつもりである。さて、ＪＡＬの不当解雇撤回運動は安全を取り戻す闘いである。４月に起きた遊覧船事故を見てもわかるように、安全より利益を優先するような今のＪＡＬのやり方、そして知床の遊覧船会社のやり方では利用者の命を守ることはできない。ＪＡＬ１２３便御巣鷹山墜落事故が起きた後、ＪＡＬは絶対安全の確立を誓った。その時に誓ったことは絶対安全の他に３つある。労使関係の安定化と融和、そして公正明朗な人事、そして３つ目が現場第一主義である。この４つを守っていたら２０１０年の経営破綻は起こらなかったはずである。解雇もしなくて良かったはずである。約束をしては破るこのＪＡＬの体質を変えなければならない。そのために私たちはここ伏見の皆さんにご協力をいただきたいと思います。私たちを解雇したのは稲盛和夫さんである。稲盛和夫さんはこの１月に９０才になられたそうだが、お元気なうちにこの解雇問題の解決に力を貸してほしい。」



きょうとユニオンのＫさんは「私の住んでいる地域では一人親方、一人事業主と言う方が多い。そういう人たちはどういう生活をしているのか。たとえば一人親方というのは労働者であるにもかかわらず、事業主という位置づけで自分のことは自分でしなさいということである。先ほどＪＨＵの方が言われたが、ＪＡＬは最低賃金以下の契約でもって、あなた方は自分でやりなさいという、こんなふざけた解決方法をとった。それは非常に問題がある。こういうことが蔓延していくと、我々の生活そのものにも跳ね返ってくる。」と述べました。

大手筋商店街を通る方はいつも通り関心が高く、あちこちでビラを受け取り対話が始まりました。

次回 宣伝行動

８月３０日（火）

（呼びかけ ＪＡＬ闘争を支える京都の会）

午後２時～３時 伏見・大手筋商店街